

又吉清義

会派 沖縄・自民党
令和5年3月特別号

沖縄県議会
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 6階
電話:098-866-2754 FAX:098-866-2773



ご挨拶

令和5年度の新年度を迎えるにあたり、玉城県政のこれまでの行政運営の在り方や、我が沖縄県の社会構造、社会環境、県民の健康、寿命がここ数年の間にどの様に変化して来たか、また、将来を担う子供達をはじめ、沖縄県民全体をはじめこれまでのコロナ禍により如何に危機的状況に直面をしているか等、議会でこれまで私自身が議論をしてきた内容等や、令和4年度の主なものを抜粋し議会報告としてまとめ上げました。

議会活動において、これまで多くの皆様から、資料提供であり情報等に感謝申し上げ、議会活動報告に代えさせていただきます。

目次

(令和4年6月定例会)

- ①マスク着用について……………2
- ②ワクチン接種と感染者数について……………2
- ③知事の就任中、県民を驚愕させた出来事について……………3

(令和4年9月定例会)

- ④物品売買契約について……………3
- ⑤マスク着用の現状について……………4
- ⑥大幅に増加した超過死亡について……………4
- ⑦先住民問題について……………5

(令和4年12月定例会)

- ⑧安全な飲料水のためPFOS、PFOA対策について……………5
- ⑨コロナ感染対策と現状について……………6
- ⑩これまでの訴訟と結果について……………7

(令和5年2月定例会)

- ⑪新型コロナウイルス対策について……………8
- ⑫県人口動態の「自然増減」について……………9
- ⑬内部統制機能の強化について……………9
- ⑭マスク着用に対する子供達からの声……………10

2023 議会報告 (令和4年6月定例会)

①マスク着用について

屋外



屋内



又吉：マスク着用を国はどの様に通達をしているか伺います。

保健医療部長：令和4年度5月23日に国が基本的な対処方針を公表、マスク着用は基本的な感染対策として重要であるが、屋外にて他者と身体的距離ができる場合には着用は必要ない。夏場については熱中症予防の観点からマスクを外すことを勧奨することが示されております。

又吉：マスクを着用することにより、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなどの身体に負担がかかることがあります。また、高温や多湿環境下では熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。マスク着用についての正しい情報をどの様に周

知しているか伺います。

教育長：マスク着用のリーフレットを配布し、体育の授業、運動部活動及び登下校の際には必要ないことを理解、協力を求めるよう、各市町村教育委員会へ周知をしたところで。

熱中症につきましては、命に関わることであります。様々な理由によりマスク着用の必要ない場面でも着用を続ける児童生徒が一定いると聞いており、引き続きしっかり周知を図っていき

又吉：現状は、この周知はほとんど守られておりません。低酸素により、免疫、体力が劣ります。又、教師、子供同士の表情を見て成長して行く過程に弊害があると思います。

教育長：ご指摘のとおり、特に低学年等の子供たちにとっては、担任の表情が見えないがために不安を覚えるということも聞いております。

又吉：児童心理学では、特に保育園、幼児関係、常に顔の表情がわからない、読み取れない現状を非常に危惧されております。教育上よくないです。教育長：適宜マスコミに情報提供を行って記事として取り上げていただきますよう啓発を続けていきたいと考えております。

又吉：改善が図られ、子供たちの笑顔を見ることが出来たら最高じゃないですか。私はやるべきだと思います。

②ワクチン接種と感染者数について

又吉：厚労省が今年発表した3月から4月11日までの統計と、4月12日以降のワクチン未接種者とワクチン接種の30代以上の方の感染者数はどちらが多いか伺います。

保健医療部長：厚生労働省がアドバイザーレポートで、4月10日までの統計では、ワクチン未接種者のほうが陽性者が多いんですが、**11日以降の統計ではワクチン2回目接種者のほうが感染者は多くなっています。**

又吉：6月13日から15日の一番直近の資料はどの様になっておりますか。

保健医療部長：30代の未接種の新規陽性者は10万当たり77.3人、2回目接種者の方は83.9人。40代では、未接種者が46.3人、2回目接種者は67.2人、50代は未接種者が64.2人、2回目接種者は46.3人。60歳から64歳は、未接種者が32.3人、2回目接種者が42.7人。65歳から69歳は、未接種者が11.9人、2回目接種者が38.3人。70代の方は未接種者が21.3人、2回目接種者が38.3人。未接種者よりも**2回目接種した方が新規陽性者が高い世代もある**ということです。

又吉：ワクチンは、感染をおさえるものですか、発症を抑えるものですか、重症を抑えるものですか、どちらですか。

保健医療部長：ワクチンについては、なかなか感染予防というところでは、今議員が指摘したような形であり、重症化予防のための形で今呼びかけているところであります。

又吉：ワクチン接種は感染を抑えるものではありませんよと、感染して、無症状の方もいれば、発症し重症化する人もいます。ワクチン接種は感染しても重症化しないためであり、感染予防とは別であると、明確に伝えるべきですよ。

③知事の就任中、県民を驚愕させた出来事について

又吉：知事の就任中、多くの県民を驚愕させた出来事の思いを知事に問います。

土木建築部長：首里城火災により、焼失した正殿を一日も早く復元するため取り組んでまいります。

又吉：2020年養豚農家を窮地に追い込んだ豚熱の発生について知事伺います。

農林水産部長：特定家畜伝染病の侵入防止のため、畜産農家における飼養管理衛生基準の遵守と指導に取り組んでまいります。

又吉：知事は豚熱発生で自衛隊がどんなに苦勞をしたか、感じてないということですね。次にコロナ禍時代の到来について知事どう思いますか。

知事：社会生活への影響を最小限に抑えつつ感染拡大の抑制、重症化、死亡者を減らすことを目標に、感染拡大防止と社会経済の回復に向け取り組ん

でまいります。

又吉：そのような状況の中、知事自らバーベキューやライブハウスのロックコンサート出演、その後の2次会、3次会との行動には県民には全く理解できません。

2022年5月に発覚した交付金申請の10億円ミスについては、知事は、直接責任はないとおっしゃっておりますが、まだそのとおりに思っているんですか。

総務部長：知事は行政の長として公務に対する信頼を損ねることとなった事態を重く受け止め、給与減額の判断をされたところでございます。

又吉：県民に与えた損害額はどのぐらいになるか、試算したことはありますか。

総務部長：トータルで試算したことはありません。

又吉：それは皆さんの意識の低さ、反省のない表れとおもいます。

すでに我が沖縄県民に100億円以上の損害を与えているそう思っております。

七転び八起どころか、今の沖縄県政、七転びチャークルビとしか思いません。

(令和4年9月定例会)

④物品売買契約について

又吉：乙第14号、15号16号議案の物品売買契約について一連の流れを順を追ってご説明ください。

保健医療部長：この議案については、7,000万円を超える財産購入となります。議会の議決を得てないということについて、契約が有効ではないということでもございました。

又吉：引き続き議案第16号についてもお答えください。

保健医療部長：抗原キット20万回分購入した事案で、議会の議決を得なければ無効であるということがございます。

又吉：この3件の議案を出す中で、残念だけれども三役から謝罪の一言もありません。謝罪する気は一切ないということですか。

副知事：全庁的に契約のチェック議案の対象となるも



のチェックについて改めて周知を行い、再発防止に努めていきたいと考えております。

又吉：皆さん、三役として、部下が失敗をした、ミスをした。本来ならば一日も早くそれを処理し、そしてそれを立て直すのが筋だと私は思っております。三役の責任が全く見られない、心痛くないですか。

保健医療部長：不適切な対応だったと言うふうに反省をしているところです。

又吉：6月議会でも10億円の交付金申請ミスが発覚した、又今回の9月議会でも3件のミスが明らかになった。あとは、委員会に引き継ぎます。

総務部長：各部署等の主管課長で構成致します。内部統制推進本部幹事会を開催いたしまして、再発防止につなげてまいりたいと考えております。

⑤マスク着用の現状について

又吉：6月にもお聞きしましたが、マスク着用のあり方について、教育長、学校現場を見たことがありますか。

教育長：体育の授業、運動部活動等、登下校の際にはマスクの着用は必要ないことをしっかりと指導し、理解を図っていきたいと考えております。

又吉：着用したい人は別にやっていいんです。取りたい人もいます。しかし先生に叱られ、白い目で見られる、これは良くないことです。朝の挨拶、マスクの顔より、笑顔が見られる挨拶がどんなに気持ちがいいです。

⑥大幅に増加した超過死亡について

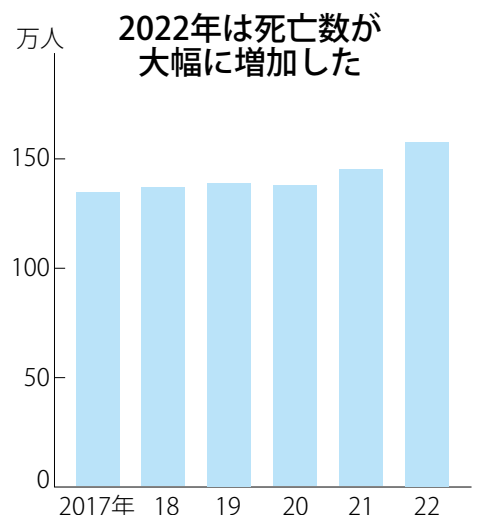
又吉：60歳から65歳、それ以外の年齢はほとんど未接種者が低いと。そういう資料を基に県民に周知徹底を図るべきだと思います。

保健医療部長：県民には、まず重症化予防のためにワクチン接種をお願いしてありまして重症化予防に努めていただきたいと述べているところでございます。

又吉：ワクチン接種は感染を防ぐものではなく、発症の重症化を抑えるとの事ですが、今年度、県民の死亡者が急激に増え始めています。前年度と比べてどのぐらい死亡者が増えているのかで説明ください。

保健医療部長：令和3年と4年の死亡者を月ごとに比較させていただきます。令和3年1月が1,220名に対し4年は1,228名。2月の令和3年が1,166名に対し4年は1,133名。3月の令和3年が1,075名に対し4年は1,249名。4月の令和3年が1,065名に対し4年は1,223名。5月の令和3年1,087名に対し4年は1,162名。6月の令和3年1,065名に対し4年は1,204名。7月の令和3年1,183名に対し4年は1,376名となり**死亡者の増加は確かにみられると考えます。**

又吉：県民の命を守るために、県内でなぜ死亡者が増えているのか調べるべきです。死亡者が増えていますと一言で片づけてはいけません。どのような死亡者が増えていますか。



(出所) 厚生労働省の人口動態統計 (速報)

保健医療部長：今県内の中で死亡者が一番多いのが、ガンで3,453人。2番目が心疾患で1,812人。3番目が老衰で1,308人。4番目が脳血管疾患70人。5番目が肺炎で490人。コロナは377人と統計がとられています。

又吉：正しく分析をして、コロナ以上にこんなにも別の死因が増えている現状にもっと重きを置くべきですよ。ガンはコロナの10倍、心疾患が5倍、老衰が4倍です。

⑦先住民問題について

又吉：知事は、自ら辺野古問題を国連に訴える計画があるとの事ですが、国連より琉球・沖縄の人々を先住民として認めよという勧告が5回出されています。琉球・沖縄の人々とは誰のことですか。

知事公室長：一般的には、琉球・沖縄の人々とは、現に沖縄に住んでいる方々、それから沖縄に親族等のルーツのある国内外のウチナーンチュの方々など、広範囲なものであると思われます。

又吉：部長は日本人ですか、先住民ですか、どちらですか。

知事公室長：私は日本人です。

又吉：知事は日本人ですか、先住民ですかどちらですか。

知事：ウチナーンチュであり日本人です。

又吉：ですからこのように国連勧告が5回も出されているのに対して、皆さん、今沖縄県で、沖縄県民は先住民であるかどうか議論をしたことはありますか。

知事公室長：これまで沖縄県民が先住民であるかどうか議論をしておりません。

又吉：議論をしていなければ、是非国連にこれは間違いですと訂正を求めるべきだと思います。

(令和4年12月定例会)

⑧安全な飲料水のためPFOS、PFOA対策について

又吉：県の管理する浄水場において、北谷浄水場の

PFOS、PFOAの値は他の地域と比べてどの様になっているか伺います。

企業局長：北谷の浄水場の令和4年度のPFOS、PFOA等の平均値は、10月末現在で1リットル当たり4ナノグラム、その他の浄水場は1ナノグラム未満となっております。

又吉：北谷浄水場が他の浄水場と比べて高いということは明確であります。

安心、安全な飲み水を提供するのに県企業局はどの様な対策、取り組みを行っておられるか伺います。

企業局：北谷浄水場におきましては、1点目に北部ダム等の取水増量による中部河川からの取水の抑制、2点目は、PFOS等吸着効果の高い活性炭の導入、3点目は、北部国ダム等からの取水が減少する東系列導水路トンネル工事期間中金武、漢那ダムの取水増量や海水淡水化施設における生産水の大幅増量などであります。

又吉：その中で、中部水源からの取水もあるのか、お答えください。

企業局：中部水源につきましては、比謝川等の河川等からの取水はなく、井戸群について1日平均約5,000トン程度取水を行っております。

又吉：中部井戸群から取水を完全に断ち切ることにより北谷浄水場が他の県管理浄水場と同じレベルになるためには、どうあるべきか、その解決策を伺います。

企業局：北部国ダム等からの取水を増量し、中部水源からの取水を抑制しておりますが、東列水路トンネル工事の老朽化に伴い、毎年改修工事が必要となっており、同工事期間中は北部国ダム等からの取水が減少するため、海水淡水化施設の生産水の増量などで対応しております。工事完了後は、1年を通して北部国ダム等活用したPFOS等低減が可能になると考えております。

又吉：東系列導水路トンネル工事で、どうしてもやむなく取水をしないといけないと、このトンネル工事の工事期間、予算はどの様になっているか、また進捗状況について。



企業局：当該導水路トンネルは、全長約28キロメートル、平成28年度から工事に着手し、令和24年までの計画で、総事業費は約230億円。現在、進捗率は9.1パーセントです。

又吉：中部地域の皆様は、工事が完了するまでは他の浄水場よりPFOSの高い水を飲料しなければならない。令和24年までの工程で、230億円の予算との事ですが、一日も早く解決するためにはどうあるべきか、お答えください。

企業局：工事短縮に向け、工法の変更や高性能な建設機械の導入、換気方法の改善による酸欠の回避と工事個所の増加などについて検討を開始したところであり、工期短縮に向け取り組んでまいりたいと考えております。

又吉：1日も早く東系列導水路トンネル工事は早く完成させるべきであると思うが如何か伺う。

企業局長：工事期間が長期にわたるということについては、非常に問題があるというふうに認識してございます。

早急に検討を進め、可能な限り短縮することについて実現してまいりたいと考えております。

又吉：北谷浄水場に危惧されている中部水源からの取水を1日も早く断ち切るために、その予算と工期を組むべきであり、健康を守るために26年の工程ではなく5年以内の完成を目指すべきであります。

知事：PFOSの原因究明と早期の解決も同時に図り、どのような対策がとれるか、真摯に、そして早期に実現していきたい。

又吉：工期が26年かかる予算の組み方でよろしいですかと私は聞いております。1日も早くでありますので予算を増やすことで工期は短縮されます。それぐらいの努力はするべきと解します。再度伺います。

知事：技術の開発や財源の確保等によってトンネル工事を先に進めることが出来れば、県民の健康に安心、安全な水をとどける事になると、しっかり検討していきたいと思えます。

又吉：26年の工期は長すぎます。知事は辺野古移設は10年では長いという割にはその2.6倍。県民の健康がないがしろにされているのは、納得いきません。

⑨ コロナ感染対策と現状について

又吉：コロナで1番恐れている、懸念されている点は何でしょうか、お答えください。

保健医療部長：コロナに感染することにより、その方々が重症化し、あるいは亡くなる事だと考えています。

又吉：私もそう思います。ワクチン接種率と感染率について、日本全国の4回目ワクチン接種率が高いベスト5の地域は、感染率はどのような状況になっているか伺います。

保健医療部長：4回目接種率が高い5つの自治体ですが、12月5日時点のデータによりますと、もっとも高いのが秋田県、次が岩手県、山形県、新潟県、青森県の順に接種率が高く、現在の感染率は秋田県が3位、岩手県が7位、山形県が

5位、新潟県が5位、青森県が8位となっております。

又吉：4回目ワクチン接種率の1番低い県のコロナ感染率は全国で何位か伺います。

保健医療部長：ワクチン接種率の1番低い県は、沖縄県で、直近の感染率は47位で1番低い状況となっております。

又吉：4回目ワクチン接種率の高い県は、コロナ感染率も高い地域が多いと、接種率の低いところは、コロナ感染率も低いと。解釈してよろしいですね。

保健医療部長：直近の感染率は、議員がおっしゃるとおりの現象が起きていることとなります。沖縄県は、10月、11月も今度は全国で感染率が1番低い県となっております。

又吉：コロナ感染者の重症化や致死率は、インフルエンザと比較してどの様になっておりますか伺う。

保健医療部長：国のアドバイザリーボードの資料によりますけれど、令和4年3月から4月の10歳未満の新型コロナ感染者の重症化率、致死率はコロナ感染に比べ、インフルエンザの重症化率が高くなっている状況です。

又吉：インフルエンザのほうがコロナ感染よりも重症化率、致死率が高いということですね。令和4年の第7波の重症化、致死率は、財務省の11月7日に社会保障を提示した資料ではどの様になっておりますか。

保健医療部長：重症化率、致死率ともにこのデータでは季節性インフルエンザのほうがコロナウイルスよりも高いデータが示されています。

又吉：コロナ感染で1番恐れるのは重症化であり、死亡と言っております。しかしコロナよりもインフルエンザが高いです。今県民に務めているワクチン接種は全て治験中だとのことと思いますが、間違いはないか伺う。

保健医療部長：長期的に見て有効性とか安全性がどうかという視点での検査、臨床試験あるいは治験が行われ、その情報を集めるために、いま、治験が一部続いているところです。

又吉：そうすると治験中とはどの様に、何を意味するのか、県はどの様に解釈をしているのかももう一度伺います。

保健医療部長：いろいろな情報、治験について有効性等についての臨床試験のような形です。

又吉：全国民が臨床試験の対象者になってしまっている。臨床試験とは、お互いが治験中だということですよ。是非正しく言うべきだと思います。

⑩これまでの訴訟と結果について

又吉：12月20日の辺野古埋めたての抗告訴訟に関する最高裁判所判決に対する考え方についてお尋ねいたします。昨日敗訴というのが出ましたが、県はどの様なお考えか伺います。

知事公室長：今後の対応については、判決文を十分に精査致しまして、決定していきたいというふうに考えております。

又吉：玉城知事が就任してから訴訟等は何件あり、その結果はどの様になりましたか。

知事公室長：敗訴が3件、取り下げが1件、継続中は3件ということになります。

又吉：これまでの訴訟のトータルは12件になると思いますが、この結果はどの様になりましたか。

知事公室長：件数12件のうち、敗訴が5件、取り下

	訴訟	提訴日	備考
①	代執行訴訟	H27.11.17 【国の提訴】	和解による取り下げ
②	抗告訴訟 (執行停止決定)	H27.12.25 【県の提訴】	
③	関与取消訴訟 (執行停止決定)	H28.2.1 【県の提訴】	
④	不作為違法確認訴訟	H28.7.22 【国の提訴】	敗訴
⑤	岩礁破砕差止訴訟	H29.7.24 【県の提訴】	敗訴
⑥	関与取消訴訟(執行停止)	H31.3.22 【県の提訴】	係属中に判決がされたため 県が取り下げ
⑦	関与取消訴訟 (議決)	R元.7.17 【県の提訴】	敗訴
⑧	抗告訴訟(裁決)	R元.8.7 【県の提訴】	係争中
⑨	【サンゴ】 関与取消訴訟(是正の指示)	R2.7.22 【県の提訴】	敗訴
⑩	関与取消訴訟 (裁決)	R4.8.12 【県の提訴】	係争中
⑪	関与取消訴訟(是正の指示)	R4.8.24 【県の提訴】	敗訴

これらの争訟費用の総額は2億2,375万8,026円

げが4件、現在継続中が3件となっております。
又吉：この結果からして、12件の訴訟のうち皆様方は1件も勝訴がない、県の取り組み方は間違っているのではないですか、基地問題は解決しますか。
 皆様方は、対話が大事と言いながら、裁判だけを行っているじゃないですか、これでいいんですか。

知事公室長：裁判をするからには、当然その訴える利益があるということで訴えてきているということです。

又吉：私は利益は何もないと思います。普天間飛行場が動くことにより、480ヘクタールが150ヘクタールに小さくなり、嘉手納以南の1000ヘクタールは返還される。
 立派な基地の整理縮小であり、基地の負担軽減です。

辺野古埋立区域②



K-4 護岸



(令和5年2月定例会)

⑪新型コロナウイルス対策について

PCR 検査件数（累積）	111,552,630 件
検査陽性者数（累積）	33,076,693 人
検査陽性率	29.7%
検査陽性者死亡数（あらゆる死因を含む）	71,579 人
検査陽性致死率（あらゆる死因を含む）	0.2%
検査陽性者死亡数（人工呼吸治療実施）	2,592 人
検査陽性致死率（人工呼吸治療実施）	0.00008%
2020年～22年上期迄の全死亡数	3,589,457 人
上記の内コロナ死（呼吸器疾患）が占める割合	0.07%
現在のコロナ重症者数	221 人
入院・宿泊療養・自宅療養中	445,449 人

コロナ第1号患者発生から3年と1月余りの現状

又吉：5月8日からコロナ感染症が感染症法の第2分類から第5分類へ引き下げられるとの事ですが、県の対応取り組みなどについて。

保健医療部長：5月8日に予定をされている5類感染症への位置づけ変更に伴い、年度途中で終了するもの、段階的に見直すものが生じてくると認識しております。

又吉：48の感染症がある第5分類感染症において、一つでも国の手当てがある感染症はありますか。

保健医療部長：感染症で入院する際の補助はというのは、第5類感染症ではないというふうに認識しております。

又吉：そうですね、一つも国の支援、補助なり実績はないわけです。コロナは終息に向っているのに、事業費が増えている。修正すべきではありませんか。

保健医療部長：いろいろな項目によって、年度途中で見直される可能性があるかと認識しております。

又吉：まさしくその通りだと思います。これまで非常に被害を受けてきた、企業、農家その他もろもろの支援、経済活性化に向け、早急に充てるべきだと思います。

保健医療部長：沖縄県の全人口に対するワクチン接種率は、1回目72.2%、2回目が71.2%、3回目が

51.4%、4回目が29.4%、5回目が12.7%となっております。

又吉：ワクチン接種率が12.7%で平均以下の以下である沖縄県、コロナ感染は蔓延しておりません。是非こういうものは調査研究してください。

⑫県人口動態の「自然増減」について

又吉：一貫して増え続けていた県人口が年間を通して初めて減少に転じたことが明らかになった。人口減少問題についてどのような危機意識を持っているのか伺う。

企画部長：死亡数が出生数を上回る自然動態の減少が、12ヶ月続いております。今後見込まれる人口減少社会では、その影響で社会保障システムの維持や地域社会活動の維持が困難となることや、経済活力の低下などが懸念されます。

又吉：沖縄県の平均寿命について伺います。

保健医療部長：20歳から64歳の働き盛り世代において、年齢調整死亡率が全国に比べて高いことが全国順位を下げる要因となっており、長寿県としての地位は危機的状況にあります。

又吉：第2次健康沖縄21の進捗について伺います。

保健医療部長：84項目のうち、改善傾向にあるものは36項目の2.8%、かわらない又は悪化しているのは、35項目の41.7%となりました。健康を支えるための社会整備は進んだものの、メタボリックシンドローム該当者や血液コントロール不良等の健康指標項目の多くが悪化しております。

又吉：健康おきなわ21の目標達成率の状況について伺います。

保健医療部長：健康おきなわ21の中には84項目があります。それについて目標に達した、あるいは改善傾向にある、変わらない、それから悪化しているなど、数字は先程述べた数字です。

又吉：だから非常に危惧をしております。県民の健康、命、これでいいのか。平均寿命であり、メタボリックであり、子供たちであり、みんな大変危

機に瀕している。

私は到底目標に達するとは思っておりません。早急な見直し、改善を図るべきです。

又吉：有機フッ素化合物残留実態調査事業について伺う。

環境部長：県内のPFOS等の残留実態を把握するため、令和5年度の有機フッ素化合物残留実態調査事業により、基地周辺以外を含めた宮古、八重山地域も対象とする全県的な水質と土壌中のPFOS等調査を実施することとしております。水質及び土壌の調査地点数は、それぞれ40地点程度を考えております。国に対し土壌に関する基準値等の設定を求めてまいります。

⑬内部統制機能の強化について

又吉：成果指標として「内部統制評価における重大な不備数」の目標値が3件や2件となっているが、重大な不備を生じさせないのが内部統制の目的であり、目標値として不適切ではないか伺う。

総務部長：内部統制機能の強化に関する成果指標について令和2年度に3件、3年度に4件、議会の議決を経ない契約等の実態が発生しており、公務の遂行にあたっては常に重大な不備の発生をゼロにすることを目指すべきであり、今後目標値の見直しを図ります。

又吉：内部統制機能の強化に関する取り組み方をお伺いします。

総務部長：内部統制推進本部会議において、改めて全庁的に事案を共有し、内部統制リスクとして国費請求事務に関するチェック項目を新設などの取り組みを行います。

又吉：重大な過ちはあってはならない事柄です。だから目標数値は絶対0でなければなりません。

総務部長：議会の各会派に最終案のご説明を差し上げそれも踏まえた上で最終案の見直し等も図るといことです。

又吉：このような目標数値を沖縄県の行政目標として持つべきではありません。

重大な不備はゼロにするんだという強い決意をするべきであります。どう思いますか知事。

知事：公務の遂行にあたっては、常に重大な不備の発生はゼロとするべきであるというように、その見直しを図っていきたいと考えております。

又吉：しっかりゼロにするんだという強い意気込みがない限りは厳しいかと思えます。

⑭ マスク着用に対する子供達からの声

又吉：3月13日からはマスク着用は個人の判断に委ねられます。現在の学校現場等のマスク着用の実態について伺います。

教育長：卒業式及び令和5年4月1日以降「マスク着用を求めない」との周知を行ったところであり、着用の有無による差別、偏見等が無いように丁寧な説明を行うよう促しているところであります。

又吉：学校現場の子どもたちの気持ちを、是非知っていただきたい。

民間団体によるマスク着用に対する県内の実態調査がありました。

1. 先生からどのような注意を受けたか。

- ・「マスクをしないと内申点を下げるぞ」
- ・授業中喋らないのにマスクを外したら、「外に出て行けと言われた」
給食のときに友達と喋ったら給食を取り上げられた。

2点目にいじめです。

- ・マスクを外したら、「バイ菌」、「コロナがうつるからあっちいけ」と言われた。
- ・マスクを外して外で遊んでいたら友達に「なんでマスクをしないんだよ」と責められ怖い思いをした。
- ・学校から許可をもらいマスクを外しているのに、「悪者扱いにされた」
- ・マスクを外しただけで保育園に行けなかった。

3点目に子どもたちの叫びです。

- ・マスクを外している子はいないから、「苦しくても付けていたい」

- ・「マスクがしんどくて学校に行きたくない」
- ・「マスクで顔がかゆい」
- ・クラスメイトの顔を知らない。
- ・授業中、「マスクでこもって集中できない」
テストの時ぐらい外したい。
- ・マスクを外せる人が多くなれば外せるけど「今は怖い」。

大人はマスクを外して楽しくご飯を食べたりお酒を飲んでいるのに、「学校給食は何で黙食なの」「苦しいからマスクをしたくない」「先生はいつも怒鳴ってばかり」教師が怒っているのかどうかの顔を察することが出来ない子どもたちが多く感じられる。このようなアンケート結果が出ております。

学校現場を調査したことはありますか。

教育長：今ご紹介いただきました学校の状況、真摯に受け止めていきたいと思えます。

今お話があった具体的な内容については、そこまで把握はしていないところであります。

こういった様々ないじめに繋がるとか、今後はこのマスクを強いるとかそういうことが無いようにしっかり対応をしていきたいと思えます。

又吉：マスコミ等でもしっかりPRをし、横断幕でも周知徹底をする、子どもたちを救ってあげてください。

尚、マスク着用は3月13日からは個人の判断に委ねられます。強制ではありません。

今一度しっかり周知徹底に取り組んでください。